

## タイ国内で一番 僻地にある学校 バンクンメートウンノーイ小学校 訪問 2

翌朝の朝礼で初めて全校生徒と出会います。

今日の日のために三原氏と山口氏と皆が協力して持ち込んだ内田洋行株式会社からの教育用具、三原代表が日本からと台湾からと総重量60kgの菓子と荷物を持ち込み、三原氏によるといつも通りチェンマイ空港の税関では内容確認をされる場所だったがそこはもう税関では既に顔が売れている三原氏は口頭説明だけでパスするらしいです。三原氏は毎回子供たちに美味しいものとオムコイ村の子供たちへも同様、たくさんの贈り物をJTASH三原氏から寄付をしていただき、また一部参加者からの食べ物などの提供と昨晚話し合いをしたボーイスカウトガールスカウトの制服26人分のお金が三原氏が代表で校長先生に手渡して寄付されました。



子供達の嬉しそうな顔はこの活動の一番の栄養源となります、澄んだ目嬉しそうな顔に勇気付けられます。与えられたサンドウィッチを食べるときも少しずつぎり小さくして食べている様子には驚きました、どこに行ってもあつという間に口に入れて平らげてしまう子供達ばかりでしたが・ここは違いました、惜しむように味わうように本当にありがたいと感じながら食べているのが分かります、お菓子類など買う場所もないわけなので・本当に貴重なものなんだということを感じます、次回はもっと運んでくるからね・そう心に思います。

内田洋行さんから寄付いただいた日食メガネはどのように使うのかと子供たちの間で話し合っていたのが印象的でした。またその他バレーボール、遠くまで光が届く懐中電灯と電池・充電器は大変喜ばれました。またその他三原氏の本業であるデジタルカメラ2台寄付、それに愛用の男性用のゴルフ帽子、男性の先生は早速愛用されていました。



この学校の敷地内の自給自足の畑や家畜の飼育場などを見学することになりますが、この辺りには血をすう蛭がいることで人数分の長靴をわざわざ買い揃えてきてくれており、我々の訪問への対応に感謝するばかりです。

敷地内を歩いてみて改めて思うことはこんな山奥なのに施設の清潔さに驚かされそれを使用する生徒達の大事にする態度が素晴らしいことに教育が行き届いていることに驚くばかりでした。



何を見ても驚くばかりでした、それは校長先生の教育精神であり、その教えは彼らにとり大事な生きるための糧であること、普段当たり前に行われている町の学校の生徒達ではそれはありがたいことだと感じ入れないだろうと思います。

色々なことに驚き感動し、勇気付けられ感謝する気持ちで一杯の今回の訪問でした、帰る時間がちかづきます、昨晚の道をこれからどうクリアするのか？という問題点に不安を残し、学校を後にします。





行きはよいよ帰りは怖い・・・

まさかそんなことわざをここで学習するとは・・・思いもせず・・・

生徒達にまた来ることを約束して別れを告げました。

今日は流石に勉強出来ない様子で校長先生を始め男子教師達がみな車を止めている場所まで送りに着てくれるそうです。そこまではしなくてと遠慮するのですが・・・それは何も知らない私たちだけ。

先生方には分かっていたのでしょうか・・・

まず川の中を走りぬけ・・・



泥沼化した道を3-5箇所通りぬけます・・・エンジンに負担を負わせるかなり厳しい坂道を何とか登りきりましたが・・・



はまりました・・・全員車を降りての体制の立て直しです。





昨日私たちを運んでくれたこの運転手さんは昨晚帰らずにまた帰り道を載せて戻る手伝いのために部落に泊り込んでくれたのです・彼がいなかったら・全員帰ることは不可能だったことでしょう・・強行軍で進んだ9kgの最悪の道・・これが魔の9kgこれを乗り越えなくてこのパーンクンメートゥンノイにはこれないということなのです。  
昨晚乗り捨てた車のそばで夜宿してくれた後もありました、無事にこの場所まで戻ることが出来て正直ほっとした瞬間でした、タイで一番僻地にある場所・まさに行かなければ・それは全然理解できない凄い場所にあることを体験しました。



ここまで無事に往復出来たのも私たちの希望を叶えてくれた校長先生にそして村の人たちにそして最後まで見届けるためにここまで来てくれた教師達に感無量の感謝の気持ちで1杯です。

この体験を1緒に出来たことそれは本当に短い時間なのに・大事な新しい仲間を増やした気がしました、別れを惜しみながら・また次回があることを約束して・・この場所を後にします。  
途中休憩のあとチェンマイに辿り着いたのは午後17時でした。

さて・・次回は乾季に子供達に会えることを楽しみに・どんなボランティアを計画したら良いでしょうか？  
この往復はどのボランティア活動よりも厳しいものでした、それを文句言わずにやり遂げる皆様の元気に感謝いたします、お手伝い出来たことに喜びを感じそして新たな活動につながることを祈らずにはおりません。  
簡単な報告ではありますが、このパーンクンメートゥンノイ学校へのボランティアが今回の訪問をきっかけにあたたかなプロジェクトとして始められるように頑張りたいと思います。





現在学校が不足しているもの或いはプロジェクトとして要請したいものリスト

1 台所を動物などの侵入を防ぐための必要な壁とドアの作成	見積もり	150000B	
2 運動場を作るための土壌づくり	見積もり	150000B	
3 ボーイスカウトガールスカウトの制服購入	済み		
4 プロジェクター購入費用	見積もり	25000B	など

2014年6月22日

報告者 グリーンライフサポート株式会社 市毛みどり

参加費用明細

参加者 一人 2800B (タイ人を除く)日本人のみ  
 2800 × 7名 =19600B

トゥンティン小学校及びバークンメートゥンノイ小学校 食べ物+飲み物 6000B  
 バークンメートゥン オムコイ 往復 ガソリン代 4000B (オムコイーチエンマイ間ガソリン代含まず)  
 レンタカー洗浄費用 600B  
 2日間の食雑費(飲み物+食べ物)@300×10名分=3000B  
 宿泊(バークンメートゥンノイ学校へのお礼として)(宿泊+夕食+朝食)@300×10名分=3000B  
 プラアドゥン先生へのお礼 3000B  
 その他泥沼の現地プロドライバーへ個人的に三原氏から 1500B チップ

総合計 19600B

